



## 平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 近鉄百貨店

コード番号 8244 URL <http://www.d-kintetsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高松 啓二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 福田 正男

TEL 06-6655-7171

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	204,214	3.3	1,039	—	36	—	△679	—
26年2月期第3四半期	197,765	1.1	△138	—	△599	—	△1,304	—

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 △211百万円 (—%) 26年2月期第3四半期 △782百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	△1.68	—
26年2月期第3四半期	△3.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	151,232	28,935	19.0
26年2月期	148,160	29,085	19.6

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 28,790百万円 26年2月期 28,970百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成27年2月期の期末配当予想は未定としております。

### 3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	287,000	3.6	4,100	32.8	2,600	4.3	1,000	3.1	2.48

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期3Q	404,379,406 株	26年2月期	404,379,406 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

27年2月期3Q	587,584 株	26年2月期	608,493 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期3Q	403,777,449 株	26年2月期3Q	403,772,302 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8
平成26年度第3四半期 決算補足資料 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年11月30日)のわが国経済は、日銀による大幅な金融緩和などにより円安が進み、輸出企業を中心に企業収益の拡大、雇用情勢の改善が見られましたが、消費税率の引上げ等の影響により、総じて個人消費は低調に推移いたしました。

百貨店業界におきましては、株価の上昇に伴う資産効果により都心部の店舗を中心に高額品の売上高が増加しましたが、消費税率の引上げに加え夏場の天候不順等の影響もあり、4月以降減収が続きました。

このような状況の下、当社グループでは、昨年3月7日にあべのハルカス近鉄本店をグランドオープンするとともに、各事業にわたり収益力の向上に懸命の努力を傾けました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①百貨店業

百貨店業におきましては、昨年3月7日あべのハルカス近鉄本店をグランドオープンし、フルライン・フルターゲットの品揃えと近鉄アート館等時間消費型施設の充実した新しい旗艦店を始動いたしました。同店では、展望台、大阪マリオット都ホテルなどと連携して様々な催しを実施したほか、オープン後においてもウイング館2階のヤングレディーズ専門店街solahaや、タワー館地下2階の食料品売場の改装等を実施し、回遊性の向上等を図った結果、売上高は71,601百万円(前年同期比18.7%増)となりました。

このほか、隣接するH o o pでは、1階に若い女性に人気のスイーツショップを導入するなど、あべのハルカス近鉄本店のグランドオープンに合わせて進めてきた大規模改装を完成いたしました。また、地域中核店の奈良店では1階の特選洋品売場を、郊外店の生駒店では1階及び2階の食料品売場を改装いたしました。一方、桃山店については、業績が低迷し回復の見通しが立たないため昨年9月末をもって営業を終了いたしました。

これらの諸施策を鋭意実施したことにより、売上高は189,093百万円(前年同期比3.2%増)となり、営業利益は409百万円(前年同期は455百万円の営業損失)となりました。

#### ②卸・小売業

卸・小売業におきましては、株式会社シュテルン近鉄の輸入新車の販売が消費税率引上げ後も好調に推移いたしましたため、売上高は8,808百万円(前年同期比12.9%増)となり、加えて株式会社ジャパンフーズクリエイトの事業見直しによる収支改善効果もあり、営業利益は206百万円(同226.3%増)となりました。

#### ③その他事業

その他事業におきましては、前第1四半期連結会計期間末でミディ総合管理株式会社及び株式会社くらし科学研究所を連結の範囲から除外したことにより、売上高は6,312百万円(前年同期比7.2%減)となりましたが、近畿配送サービス株式会社など各社で業務の効率化に努めたため、営業利益は319百万円(同9.1%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は204,214百万円(前年同期比3.3%増)、営業利益は1,039百万円(前年同期は138百万円の営業損失)、経常利益は36百万円(前年同期は599百万円の経常損失)となりました。これに特別損失として固定資産除却損等及び投資有価証券評価損を165百万円計上し、法人税等を減じた四半期純損失は679百万円(前年同期は1,304百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ3,071百万円増加し151,232百万円となりました。負債は、買掛金や預り金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ3,221百万円増加し122,297百万円となりました。純資産は、四半期純損失の計上などにより、前連結会計年度末に比べ149百万円減少し28,935百万円となりました。この結果、自己資本比率は19.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、平成26年9月25日に公表した予想数値に変更はございません。

なお、定例的な会計処理として、商品券等については、未請求分の時効整理額を未請求債務整理益として営業外収益に、時効整理額のうち商品券等の回収見込額を商品券等引換損失引当金繰入額として営業外費用にそれぞれ計上しております。

また、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）が平成25年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できるようになったことに伴い、第1四半期連結会計期間の期首からこれらの会計基準等（ただし、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めに限る。）を早期適用いたしました。それにより退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、計算に用いる割引率を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率に変更しております。

これに伴う第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金及び当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純損失への影響はありません。また、セグメント情報に与える影響もありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,837	4,439
受取手形及び売掛金	10,274	13,515
有価証券	1,984	—
商品及び製品	10,409	11,382
仕掛品	958	79
原材料及び貯蔵品	42	25
その他	7,131	7,268
貸倒引当金	△161	△166
流動資産合計	33,476	36,544
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	58,772	56,760
土地	30,095	30,092
その他（純額）	4,278	4,112
有形固定資産合計	93,145	90,965
無形固定資産	1,826	1,787
投資その他の資産		
投資有価証券	5,267	5,498
敷金及び保証金	9,013	11,148
前払年金費用	1,903	1,930
その他	4,132	3,961
貸倒引当金	△604	△603
投資その他の資産合計	19,712	21,934
固定資産合計	114,684	114,688
資産合計	148,160	151,232

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,697	25,001
短期借入金	11,517	27,981
未払法人税等	452	177
商品券	10,182	10,239
預り金	27,820	30,111
商品券等引換損失引当金	4,750	4,865
賞与引当金	65	68
資産除去債務	69	16
その他	11,473	9,946
流動負債合計	89,028	108,407
固定負債		
長期借入金	23,208	7,724
退職給付引当金	350	369
資産除去債務	205	208
その他	6,282	5,587
固定負債合計	30,047	13,889
負債合計	119,075	122,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	9,097	9,090
利益剰余金	4,543	3,952
自己株式	△82	△78
株主資本合計	28,558	27,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	411	826
その他の包括利益累計額合計	411	826
少数株主持分	114	144
純資産合計	29,085	28,935
負債純資産合計	148,160	151,232

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	197,765	204,214
売上原価	150,944	154,650
売上総利益	46,820	49,563
販売費及び一般管理費	46,959	48,523
営業利益又は営業損失(△)	△138	1,039
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	46	50
未請求債務整理益	928	741
その他	358	454
営業外収益合計	1,337	1,253
営業外費用		
支払利息	276	281
商品券等引換損失引当金繰入額	959	1,104
持分法による投資損失	44	359
その他	518	510
営業外費用合計	1,798	2,255
経常利益又は経常損失(△)	△599	36
特別利益		
受取和解金	703	—
投資有価証券売却益	60	—
関係会社株式売却益	24	—
特別利益合計	788	—
特別損失		
固定資産除却損等	147	145
投資有価証券評価損	—	19
減損損失	1,129	—
特別損失合計	1,276	165
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,088	△128
法人税、住民税及び事業税	262	253
法人税等調整額	△92	247
法人税等合計	170	500
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,258	△628
少数株主利益	46	50
四半期純損失(△)	△1,304	△679



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,258	△628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	474	416
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	475	416
四半期包括利益	△782	△211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△829	△262
少数株主に係る四半期包括利益	46	51

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店業	卸・小売業	その他事業	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	189,093	8,808	6,312	204,214	—	204,214
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56	2,628	4,069	6,755	△6,755	—
計	189,149	11,437	10,381	210,969	△6,755	204,214
セグメント利益	409	206	319	935	104	1,039

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 平成26年度第3四半期 決算補足資料

### 個別決算関係

#### 1. 個別決算の概要

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間	
	金額	前年同期比
売上高	189,129	3.2%
営業利益	525	—
経常損失(△)	△122	—
四半期純損失(△)	△591	—

#### 2. 店別売上高

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間	
	金額	前年同期比
あべのハルカス近鉄本店 (Hoop等を含む)	75,556	17.0%
上本町店	18,670	△3.1%
東大阪店	2,675	△1.6%
奈良店	18,917	△1.3%
橿原店	13,591	△2.9%
生駒店	7,086	△4.5%
和歌山店	15,934	△4.5%
桃山店	4,193	△28.1%
草津店	8,717	△2.0%
四日市店	16,186	△2.9%
名古屋店 (近鉄パッセ)	7,600	△5.0%
合計	189,129	3.2%

(注) 桃山店は平成26年9月30日をもって、営業を終了いたしました。

#### 3. 商品別売上高

(単位：百万円)

		当第3四半期累計期間	
		金額	前年同期比
衣料品	紳士服・洋品	7,575	0.5%
	婦人服・洋品	38,730	△1.6%
	子供服	3,758	△1.5%
	その他衣料品	7,328	17.1%
	計	57,392	0.7%
身回品		18,509	9.9%
家庭用品	家具	2,092	△13.6%
	家庭電器	228	△13.8%
	その他家庭用品	4,786	△3.5%
	計	7,107	△7.1%
食料品		62,260	2.0%
食堂喫茶		4,105	△17.3%
雑貨	雑貨	21,034	1.1%
	薬品化粧品	8,766	9.9%
	計	29,801	3.6%
サービス		1,017	7.7%
その他		8,935	48.3%
合計		189,129	3.2%